

「ウサビの一日救急隊長 (Vo.3)」

「ウサビの一日救急隊長 (Vo.3)」

前回ウサビの一日救急隊長 (Vo.2) の続きです > >



消防車とともに宮宿小へ

ウサビ 「宮宿小のみんな、「救急隊長 桃色ウサビ」だ 」

弟子 「なに、なんとか戦隊みたいな事いってるんですか！行きますよ！」



ウサビにはおなじみ宮宿小学校、先月と一緒に花笠も踊ったよ。



小学校に入るとすぐに子ども達に取り囲まれるウサヒ。

子ども 「ウサヒ、いつもと違う～」

ウサヒ 「今日は『ハイパーウルトラ救急隊長 桃色ウサヒ』だよ 」

子ども 「なんかこわ～い！！」

ちょっと落ち込みつつ…



いざ、5年生が待つ体育館へ

弟子 「師匠何落ち込んでるんですか！！あっち見て！見て！」

あっち



ウサヒを見に来た他学年の子ども達

自分の人気っぷりに自信を取り戻したウサヒは



お得意の待機

消防隊員「ウサビ～出番だぞー」

いざ出番



宮宿小学校 5 年生 28 名とご対面。一人ひとり自己紹介をします。



消防隊員「一日救急隊長 桃色ウサビさんです！」



ウサビ 「ハイパーウルトラ救急隊長 桃色ウサビ参上 」

消防隊員 「一日救急隊長の威厳が・・・」



そして、加藤さんがウサビに関して…

ではなく、救急救命に関して小学生に説明している間にある準備が進んでいた。

ある準備とは…

コレ



寸劇「ヒロミチ君と遊んでいて急に倒れたウサビ」

子ども「!! (いつもの(なにもつけてない)ウサビにもどってる…)」

ヒロミチ君「まーてーよーウサビ」

ウサビ「捕まえてごらんなさい! ウフフフ…」

弟子「…(恋人同士??)」



楽しげな二人はこれが悲劇の始まりだとはまだ知らなかった・・・(弟子談)



ウサビ「う……」

ヒロミチ君「ど、どうしたのウサビ??」



ウサビ「く……くるしい……」



ウサビ「ぐ…(ドスンッ)」

ヒロミチ君「ウーサーヒー」

師匠は演技上手ですから…(弟子談)



ヒロミチ君「しっかり！しっかりして！ウサビ！」

桃色ウサビ、突然最後の日を迎える??

しかし



ウサヒが倒れているにも関わらず大爆笑の子ども達



ヒロミチ君も笑いをこらえている・・・



先生を呼んできたヒロミチ君

ヒロミチ君 「先生、ウ、ウサヒが突然倒れたんだ！！」

先生 「大変！私が心臓マッサージをするから、ヒロミチ君は他の先生に伝えて！！」



事情を聞いた先生が 119 番中

先生 「(プルル・・・プルル)」

消防署 「119 番、消防署です。火事ですか、救急ですか。」

ここで救急の場合は必ず救急と言いましょ。

「火事です」と言ってしまった場合、消防車が来てしまいます(ウサヒ談)

先生 「救急です！」

消防署 「場所はどこですか？近くに大きい建物がありますか？」

先生 「西村山郡朝日町宮宿 1021 宮宿小学校です！」

電話をかけた時点でどこから電話しているか、消防署のモニター

に表示されますが、確認のため電話で住所を確認します。

いたずら電話をするとすぐバレますのでやめましょう(ウサヒ談)



まるで抜けがらのようになってしまったウサヒ

消防署 「名前と年齢、電話番号、状況を教えてください。」

先生 「桃色ウサヒ、11歳(今回の設定)、00 - 0000、

同級生の友達と二人で遊んでいて急に苦しみ出して倒れました！」

消防署 「わかりました。直ちにそちらへ向かいます！」



桃色ウサビ、「11歳」に大爆笑…



そして救急隊員到着！！

隊員「一日救急隊長が情けないぞ！ウサビ！」

厳しい事を言いつつも心臓マッサージを続行。すると…



隊員「お…？」

ウサビ「よーい」



ウサビ「しょっと!!」

ヒロミチ君「いぎがえったよ～ウサビ～よがった～」



一件落着！！

ウサビ「今日は大切な事を学んだよ。ウサビだって、弟子だっていつ倒れるか

分からない。大切な人を守る為に、日頃から救急訓練を行って

いざという時正しい行動がとれるようにしとかなきゃならないんだ。」



ウサビの言葉をヒシヒシと受け止めた子どもたちは早速心臓マッサージの訓練に。



まずは消防隊員さんがお手本

隊員さん「胸の真ん中に両手を重ねて置く。肘をまっすぐ伸ばして体重をかけ強く押すんだ。」

ポイント

垂直に圧迫する / 速く(1分間に約100回のテンポで)絶え間なく(30回連続)

圧迫の十分な解除 / 斜めに圧迫しない / 肘を曲げて圧迫しない

床面が固く平らなところで行う。

2分ごとに実施者を交代するのが望ましい。



隊員さん「じゃあ、一人2分交代でやってみようか。ウサヒやるかい？」

隊員さん「いいぞウサヒ！！その調子だ！！」

ウサヒ「ハイパーウルトラ救急隊長 桃色ウサヒですから！」

弟子「(バスケットン桜木みたいな自信家っぷり…)」



子ども達もウサヒに続きます！！

子ども「あと10秒…5・4・3・2・1…終わり！」



2分間の心臓マッサージで疲れきる子が続出

隊員さん「疲れたら、他の人と交代すること。疲れて手の位置がズレると

肋骨を折ってしまったりするから注意するように！！」

弟子「心臓マッサージって大変なんですね。」

隊員さん「弟子さんもやってみたらいいべ～」



やってみた

弟子「意外と大変・・・」

ウサヒ「こらッ！体重かけるな！！」

ウサヒの弟子が心臓マッサージを始めるとわらわらと子ども達が集まって来て



記念撮影に・・・

弟子「情けない姿ですね師匠・・・フフフ(いい気味)」

ウサヒ「弟子め・・・覚えてろよ～！！」



そしてまとめ…あれ??

子ども「ザワ…ザワ…」

子ども「何でウサヒが先頭陣取ってるの??」

ウサヒ「先生！質問があります！！」



ゴニョゴニョ

ウサビ 「救急車は電話してどれぐらいで来るんですか？」

隊員さん 「電話を切ってから平均7分50秒です。それぐらいかかってしまうので

救急車が来るまでは心臓マッサージを交代で行って下さい！！」



隊員さん「他に何かありますか？」



子ども「ちょっと…聞きづらいんですけど…ウサビは何歳なんですか？」

ウサビ「年齢など詳しくはHPへ」



そんな隊長のウサビの年齢にまで迫った救急訓練は終了



最後にみんなで記念撮影

ウサビ 「今日、記念撮影多くない??」

弟子 「記念撮影で終わりと思いきや・・・?なパターン多いですね。」

ウサビ 「もしや・・・」



普通にこれで終わりでした。お疲れ様ウサビ

そして消防車・救急車が帰ったのを見送っていたその時・・・



救急車のお見送りに出ていた子ども達！！



既に車に乗り込んでいたウサビに気付いた！！



小学生に取り囲まれるウサビカー

弟子 「し、師匠大人気ですね。」

ウサビ 「ああ、でも今日は見つかりたくなかったな・・・(疲れてるから)」

その後、隙を見て、ウサビと弟子は消防署に戻りました。

たった1日だけの救急隊長でしたが、綿密な準備のかいもあり、

通常点検・救急訓練ともとても盛りあがりました。

宮宿小学校での寸劇を準備したのは朝日分署の若手消防隊員さん

ヒロミチ君は実名だそうです。

今年は9月8日から14日までの一週間が「救急医療週間」になっています。

大切な人に何かがあった時、適切な対応ができますか？

ウサヒと弟子はこの訓練を受けるまで、心臓マッサージの正しいやり方も知りませんでした。

「天災は忘れたころにやってくる！」

いざという時に備え、救急救命の方法を調べたり、講習に参加してみたいかがでしょうか。

また、今回は消防署、朝日分署の「救急の日に合わせて、救急を効果的にPRしたい！！」

という熱い思いから、桃色ウサヒに声をかけて頂き、一日救急隊長委嘱にいたりました。

「PRのために」「地域を盛り上げるために」

ウサヒも弟子も全力で皆さんと協力して行きたいと思っています。

今後どんな事でも、気軽に声をかけて下さいね。

今後の出演予定

今後のウサヒの出演予定

14日： 上山、新キャラクター誕生記念式典 10時00分 ~ (上山市)

14日： 芋煮フェスティバル 12時30分 ~ (中山町)

そして、9月16日は、以前大沼で見かけた巨大生物の真相を探るため

このイベントに参加してきます

>>「朝日町エコミュージアムふるさとミニ紀行～不思議めぐり～」

生身の僕・中の人参加します。

定員にまだ空きがあるようなので、一緒に真実の目撃者になってくれる人も募集しています。

連休も、楽しいイベント盛りだくさん。頑張ります！